

お知らせ

平成13年4月18日
海洋科学技術センター

有人潜水調査船「しんかい2000」、支援母船「なつしま」ほかの一般公開について

海洋科学技術センター（理事長 平野 拓也）は、科学技術週間行事の一環として、有人潜水調査船「[しんかい2000](#)」、支援母船「[なつしま](#)」及び無人探査機「[ドルフィン-3K](#)」の一般公開を、下記のとおり実施しますのでお知らせいたします。

また、本公開では横須賀新港に寄港する米国商務省海洋大気庁（NOAA）所属 海洋調査船「[Ronald H. Brown](#)」（ロナルドH.ブラウン）もあわせて一般公開いたします。

記

1. 日 時 平成13年4月22日（日）
 午前10：00～午後4：00
 （乗船受付は、午後3：30で終了）
2. 場 所 横須賀新港（新港埠頭）（[地図参照](#)）
3. 入場料 無料
4. その他 当日は駐車場がありませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。

問い合わせ先

海洋科学技術センター

総務部普及・広報課 志村、月岡、小柳津

電話 0468-67-3806

企画部国際課 田代

電話 0468-67-3494

海洋科学技術センターの船舶等の概要

支援母船「なつしま」



全長 67.8m

幅 13.0m

深さ 6.3m

総トン数 1738トン

航海速度 約12ノット

航続距離 約10,800マイル

乗船者数 55名

有人潜水調査船 「しんかい2000」



全長 9.3m

幅 3.0m

高さ 2.9m

潜航深度 2000m（最大）

空中重量 23.2トン

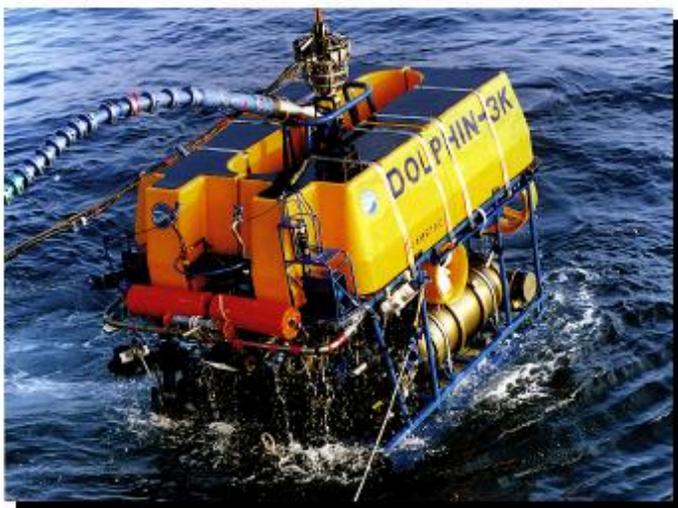
水中速力 3ノット（最大）

乗員数 3名（パイロット1名

コパイロット1名

研究者 1名）

3000m級無人探査機 「ドルフィン3K」



全長 2.9m
幅 1.9m
高さ 1.9m
潜航深度 3300m (最大)
空中重量 3.7トン
水中速力 3ノット (最大)



海洋調査船「Ronald H. Brown」の概要

所属：米国商務省海洋大気庁 (NOAA) *1

全長：83.5m (274feet) 全幅：16.0m (52.5feet) 喫水：5.8m (19.0feet)

総トン数：3,180トン コールサイン：WTEC

乗組員：士官6名、部員／研究者53名 (計59名)

備考：1997年完成の最新鋭海洋調査船です。

[主要目](#) | [側面図等](#)

本船は、西太平洋アジア域のエアロゾル観測 (ACE-Asia *2) を終え、研究者の交代及び補給のために寄港します。日本への寄港は、初めてになります。

この航海には当センター研究者は乗船していないものの、日本人研究者が乗船しています。

3月14日にパールハーバー (ハワイ) を出航し、移動観測局として航空機と連携して北太平洋でのエアロゾル特性の時間的、空間的変化を観測しています。

この観測の後、4月20日に横須賀新港へ寄港します。4月27日にはダッチハーバー（アラスカ）へ向け横須賀新港を出航します。

なお、今年5月には、当センター海洋地球研究船「みらい」においても「ACE-Asia」に係わるエアロゾルの観測が実施される予定です。

- 1：海洋大気庁 NOAA（National Oceanic Atmospheric Administration）は、米国の商務省傘下の機関です。

日本における水産庁、気象庁、そして当センターが行っている業務を担当している国の機関です。

- 2：ACE（Aerosol Characterization Experiments：エアロゾル特性観測計画）は、大気エアロゾル粒子が地球の気候システムに与えている影響の理解を深めることを目的としています。

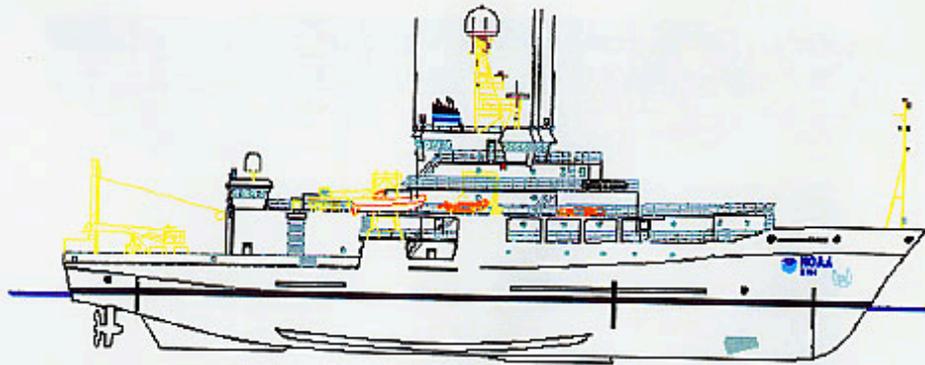
ACE-AsiaはInternational Geosphere Biosphere Program（IGBP：地球圏_生物圏国際共同研究計画）の中心となるプロジェクトの一つであるInternational Global Atmospheric Chemistry Program（IGAC：地球大気化学国際共同研究計画）による第4弾目のプロジェクトです。



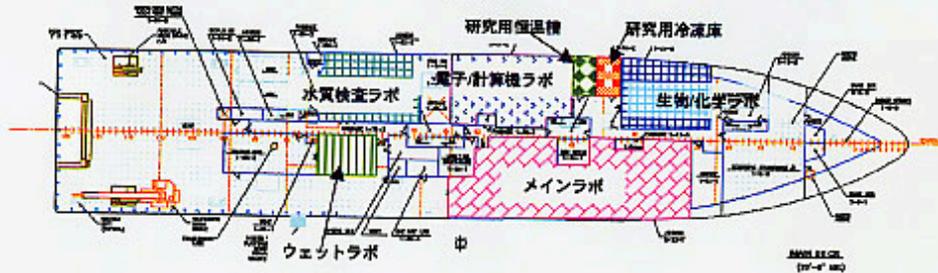
NOAA Ship RONALD H. BROWN



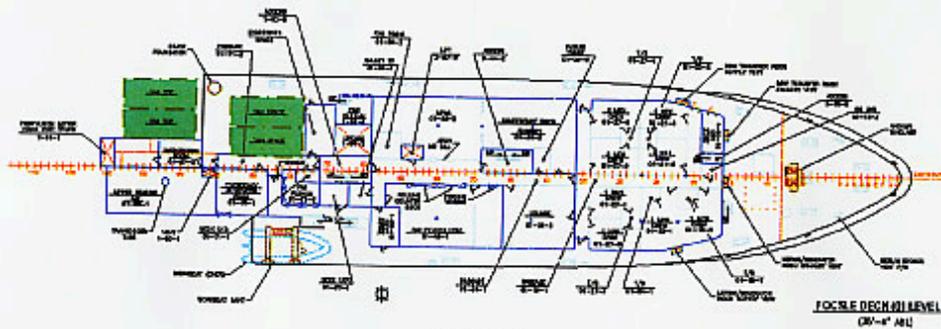
主要目		主な研究設備	
全長	83.5m	延長式クレーン	19t x 2
全幅	16.0m	多関節格納式クレーン	1t x 2
深さ	8.1m	油圧ウィンチ	10,000m x 2
喫水	5.8m	CTD 用 x 1, ピストンコア用 x 1	
総トン数	3,180 トン	トラクションウィンチ	
巡行速力	12 ノット	9,000m 光ファイバ・複合ケーブル用 x 1	
最大搭載人員	59 名	13,000m ストレッチャーケーブル用 x 1	
推進システム	ディーゼル発電機 による電気推進	A フレームクレーン	
主推進器	旋回式スラスタ 3000HP x 2	マルチナロービーム音響測深器(SEABEAM2112)	
バウスラスター	旋回式ウォータージェット 1180HP x 1	サブボトムプロファイラー(ODEC Bathy 2000)	
自動船位保持装置装備		ADCP(音響流向流速プロファイラー)	
(Dynamic Positioning System, DPS:		ドップラー式船速計	
GPS、音響航法装置、風向風速計等により		音響航法装置(USBL/LBL)	
船の位置とその変化量を知り、そのデータ		CTD(電気伝導度/水温/深度測定器)	
をもとに船の位置・進路等を保持できる)		ドップラーレーダー	
		GPS (DGPS)	
研究室等			
メインラボ、水質検査ラボ、電子/計算機ラボ、生物/化学ラボ、ウェットラボ、研究用恒温槽/冷凍庫 研究用コンテナスペース (20ft コンテナ 8 基搭載可能)			



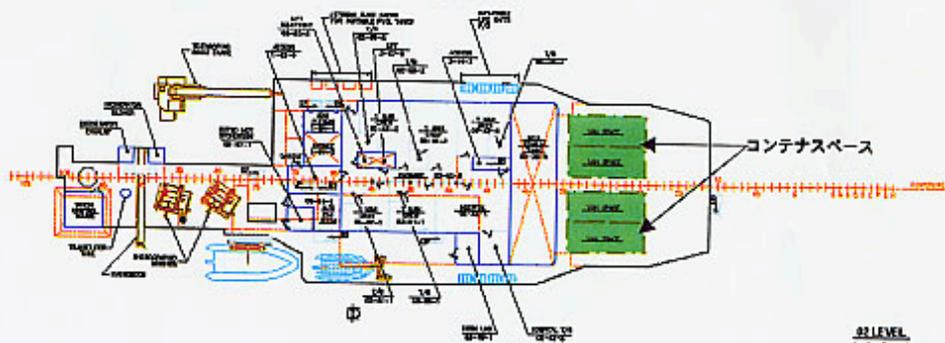
側面図



上甲板



第2甲板



第1甲板

横須賀新港案内図

一般公開 場所

